

2024年度 第10回 業務・広報委員会 議事録

1. 日時: 2025年3月7日(金)15:00~17:00
2. 場所: (一社)日本木造住宅産業協会6F会議室とオンライン
3. 出席者: 11名(内WEB参加3名) 委任状1名 計12名 ※定足数以上

【リアル出席】

村岡照生(住友林業)・片平貢丈(ポラス)・藤井達矢(一条工務店)・芳山由香(AQ Group)
石渡玉枝(エス・シー・エヌ)・白木由莉(住友林業)・昆克実(日本住環境)・
小長谷一樹(日本ハウスホールディングス)

【WEB参加】

堀内国土(AQ Group)・西野安則(パナソニックホームズ)・塩崎亜里沙(BXカネシン)

【委任状】

上田学二(三協立山)

【オブザーバー】

【事務局】

桜井稔子・窪田千香・高嶋健司・宮波和幸

【欠席者】

丸岡 淳(ポラス)・梅原理恵(ナイス)・釣本篤司(日本住環境)・富樫昌生(ミサワホーム)・
藤林貴則(ヤマト住建)・山村綾音(住友林業)

※以上、敬称略

■審議事項

1. 令和6年度功労者表彰候補者推薦について 審議資料1ー①, ②

【事務局】

添付資料にもとづき、**表彰規定・基準**、候補者の出席状況を説明。

【委員】

- ・委員のみなさんの委員会への協力に大変感謝致します(委員長)。
- ・その中で一人を選抜するのは心くるしい限りですが、規定にもとづき決定。
- ・通算4年間(過去3年間と本年度)の当委員会への協力の状況から、審議の結果、了今年度は「藤林 貴則委員(ヤマト住建(株))」に決定。承認いただく。
- ・来年度は、本年度で3年経過の方で未表彰の方が3名(片平副委員長・白木委員・梅原委員)となる。

■報告事項

1. 作文コンクールについて 報告資料1

【事務局】

- ・第28回の応募促進ツールとして今までの「ポスター」「見開きパンフレット」を辞めて「A4チラシ(表裏)」の採用を説明。ポスター・見開きパンフ中止の根拠はアンケート結果では、ポスターが掲示されていない、パンフも回覧されていないなどの回答が散見され、募集への効果が薄いと判断。経費的にもコストダウンの効果も説明した。
- ・ポスターデザインは前回委員会にて選定いただいた③従来タイプのイラストデザインをベースに、その際に頂いた意見を反映した③改のイラストデザインについて説明
 - ① チラシのPDFダウンロード用QRを掲載
 - ② 募集にはせがわ先生・南雲先生のお名前を活用させていただく(許諾はこれから)
 - ③ 学校応募・個人応募の両方が可能を目立たせた。
 - ④ 募集のハードルを下げるため文字数を200~1200字程度とする。
 - ⑤ 大臣賞など各種団体賞の標記を簡素化してポイントを説明。
 - ⑥ チラシに応募作品送付用の宛先ラベルを掲載。

【委員】

- ・チラシの宛先ラベルを切り離すとチラシとして活用できないのでは？
- ・ポスターなどの配布部数は？チラシに変えた際の部数は？⇒約2万部で、各学校にポスター1枚・パンフ6枚配布でした。チラシ化の際の部数は検討しますがQRコード読み取りでの拡散を期待します。
- ・文字数の修正・記載には賛成です。前回パンフの見開きのイラストは作成のときのテーマにもなるので見れた方がよい。
- ・「宿題で作文を書く」となればネットで調べられると思われる。検索の上位に来るように費用を掛けてみては？
- ・「郵送でないダメ」と思わせないような表記はどうか？もうちょっとそのパソコンやスマートフォンでのメール応募ができた方が手元で応募しやすいと思われる。
- ・QRは2つ並べると読み取りにくいので離して掲載したほうがよいと思う。
- ・ポスターの中止については概ねご理解いただいた。

※次回、委員会にてデザイン・方向性について審議することとなる。

2. 木芽192春号・台割のご報告 報告資料2-①、②

【事務局】

- ・過去の委員会では報告していた木芽の台割の報告を今回から再開。報告資料に基づき、4月21日発刊予定の木芽192春号の台割および2026年度のリニューアルに向け、現在の木芽の紙面構成を説明。現在の定例特集および連載企画の内容を説明し、今後の委員会で改めて新たな企画のご提案を委員に依頼した。

【委員】

- ・色々と議題も増えて木芽についての編集会議的な議論ができてなかったが、再来年度のリニューアルに向けて再開したいと思います(委員長)
- ・木住協ならではで、木に付いての特集企画もよいのでは？日本の木のヒノキであったり、松であったりケヤキであったりとか。一ページぐらいで紹介すると。か、何かの他の企画と交互でもいいかもしれませんが。
- ・今後議論を深めて、今まで続けてきた伝統として残すようなところと、大きく変えるところなど、ゼロから解体して皆さんと組み上げたいと思っています。

※次回以降、木芽企画案を募集しながら新たな紙面づくりを模索していく。

3. 2025年度自主統計について 報告資料3-①, ②, ③

【事務局】

- ・報告資料にもとづき、来年度自主統計のヒアリング追加項目について説明。現在市場で増えている「平屋(戸数)」、注目度の高い「非住宅(棟数)」の項目を新たに追加し、情報を収集する件を説明した。

【委員】

- ・平屋については委員会各社で増えており、全棟数の4割を占める会社もあり、エリア見れば7割が平屋のエリアもあり右肩上がりで増えている感じ。面白いデータがとれるのでは。
- ・非住宅については大変興味がある。どれぐらい建てられているのかもそうですが、どんな用途で建てられているのかわかればなおいと思う。記者発表時に聞かれそう。
- ・500m2から2000m2の非住宅はゼネコンがいやがる大きさ。あと駅のトイレやちょっとした事務所・店舗も非住宅。規模をどうとらえるのか。

⇒意見出しの結果、用途については非常に関心があるが、ヒアリング項目が増えることもあり、今回は「棟数」に絞る方向となる。貴重な入手したデータをもとに後日ヒアリングして深掘することを検討する。

4. ホームページ閲覧実績(2024年4月～2025年2月) 報告資料4

資料にもとづき実績説明。順位は

- ・累計では1位:耐火・準耐火 2位:木でできているものってどんなもの?木ZZの森 3位省令準耐火 4位:木でできているものマップ 木ZZの森
- ・2月実績で「木でできているものってどんなもの?」関連へのアクセス件数が増加。前年と比較できないため理由は不明。

※次回、第1回業務・広報委員会は「4月3日(木) 15:00～17:00 6F 木住協会議室にて開催

以 上